ＪＲ東海労ニュース

№２５７５
２０２１年２月２４日
ＪＲ東海労働組合

２０２１ＪＲ総連春闘勝利！　シリーズ⑨

経営が厳しいのはコロナではなくリニア！
リニアをやめれば黒字！

ＪＲ東海の令和２年度第３四半期決算（連結）で、１，１１４億円の赤字が計上されました。同第２四半期（中間決算）の赤字額は１，１３５億円ですので、単純に計算すると、昨年１０～１２月の３ヶ月間に２１億円の黒字を計上したことになります。令和２年度３月期の連結業績予想（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）は、売上高８，６３０億円、当期純損益１，９２０億円の赤字です。

一方、会社が発表した「２０２０年度重点施策と関連設備投資について」（昨年３月２６日付）によると、リニアの投資額は３，８００億円で、単体の設備投資額６，８８０億円の５５％にも及びます。今後は、リニアの投資額が増える反面、安全などへの投資が抑制される懸念があります。

リニア建設費は、年間の赤字総額の２倍もの金額です。リニアへの投資を無しにすれば、つまり、この機会にリニア建設を撤回すれば、約１，９００億円の黒字になるのです。皆さん、このような経営を良しとしていいのでしょうか？　赤字はコロナが原因ではなく、リニアなのです。経営者の責任です。

従って、今春闘の賃上げや夏季手当の要求で、満額獲得できる資金は充分にあるのです。皆さん、リニア建設中止と賃上げの声を上げましょう。

ＪＲ東海では

コロナ禍　　リニア禍